

2026年度「海洋教育パイオニアスクールプログラム」採択校決定 3地域18校で海の学びが展開されます

「海洋教育パイオニアスクールプログラム」は、海の学びに取り組む全国の学校を対象とした助成制度です。笹川平和財団海洋政策研究所が日本財団と共同で実施しており、2026年度は3件18校（総額1,569万円）に対して助成することが決定しました。

3地域18校において、それぞれの地域性や資源を生かした多様な海洋教育の実践が展開されます。各校では、子どもたちが主体的に課題を設定し、地域と関わりながら学びを深めていく活動が展開される予定です。こうした教育現場の具体的な取り組みや、そこで生まれる子どもたちの気づきや変化こそが、本プログラムの重要な成果であると考えています。実際の教育活動の様子については、取材やお問い合わせにも随時対応可能ですので、ぜひ現場における子どもたちの学びの姿をご取材いただければ幸いです。

2026年度「海洋教育パイオニアスクールプログラム」採択校決定について

1. 助成件数：3件18校（3都道府県） ※助成先一覧は別紙をご参照ください。
2. 助成金額：15,690,000円

※地域展開部門：教育委員会や自治体の主導により年間を通じて行う取り組みを支援。

過去の実施内容等はプログラムのウェブサイトにてご覧いただけます。

<https://www.spf.org/pioneerschool/program/search.html>



<参考>

海洋では今様々な問題が起きています。連日報道されているプラスチックごみ問題や、地球温暖化により海水温が上昇し激しい気象現象などのリスクが高まっていることなど、私達の生活にも大きな影響を与えています。海洋に関する様々な課題を解決し、海と人が共生していくために必要な資質・能力を育む海洋教育の重要性は、日に日に高まっています。

2018年5月に政府が決定した「第3期海洋基本計画」において、2025年までに全市町村での海洋教育の実施を目指すことが明記されています。また、2030年までの国際目標であるSDGs(持続可能な開発目標)においても、その14番目に「海の豊かさを守ろう」という目標が掲げられています。これらを達成するためにも、海を知り、海に親しみ、海を利用し、海を守る学習を推進する海洋教育はますます重要になっています。

地域展開部門： 15,690,000円（3件18校）

地域展開部門

No	都道府県名	教育委員会・学校名	活動名
	広島県	江田島市教育委員会（8校）	島っこの特権を生かした江田島市のコアカリキュラム「さとうみ学習」の構築と推進
1		江田島市立中町小学校	
2		江田島市立大古小学校	
3		江田島市立三高小学校	
4		江田島市立鹿川小学校	
5		江田島市立能美中学校	
6		江田島市立江田島小学校	
7		江田島市立江田島中学校	
8		江田島市立大柿中学校	
	山口県	周防大島町教育委員会（5校）	島っ子活躍応援事業
9		周防大島町立沖浦小学校	
10		周防大島町立東和小学校	
11		周防大島町立浮島小学校	
12		周防大島町立安下庄小学校	
13		周防大島町立島中小学校	
	佐賀県	玄海町教育委員会（5校）	九州・海と夢のプロジェクト
14		玄海町保育所ふたば園	
15		玄海町保育所あおば園	
16		玄海みらい学園前期課程	
17		玄海みらい学園後期課程	
18		佐賀県立唐津青翔高等学校	